

## 区域の座標設定手法

座標は次の手順で実施する。

設定基準点や下端（上端）位置の計測値と 1/2500 砂防基盤図の地形モデル（DM）展開位置との調整を行い、区域設定の精度（現地との差違）向上に努める。

- ①机上設定（砂防基盤図上での作業）
- ②不動点を 2 点以上選点し、現地再現の基準点とする。なお、設定基準点は G P S 計測等で世界測地座標を取得する（この精度は 3 級基準点相当とする）。
- ③設置した基準点から区域の再現ポイントとなる下端点の実測を行う。同時に下端位置は、設定基準点からの展開で、測量作業により計測値を測定する（この精度は 4 級基準点相当とする）。
- ④設定基準点、下端位置の展開図を作成する。
- ⑤設定基準点の座標を G I S 上で展開して調整する。
- ⑥下端位置の座標を G I S 上に展開して調整する。
- ⑦警戒区域・特別警戒区域の座標を G I S 上で展開して整理する。  
位置情報は世界測地系（測地成果 2011）で、調書に整理する。